

2025 年度学校法人常磐大学事業計画

【学校法人常磐大学】

1 人事政策

(1) 人材配置の適正化

- ① 適正な人事採用計画の実施

(2) 人材育成と組織力の強化

- ① 研修制度の充実

ア 全学的 SD の実施方法の再考

- ② 労働環境のさらなる向上

ア ダイバーシティ推進に向けた取り組み

イ ワークエンゲージメントの測定に向けた検討

ウ 労働力確保のための取り組み

(3) 人件費の適正化

- ① 社会経済情勢に基づいた基本給等の給与額の検討

- ② 各種手当の見直し

項目	目標
有給休暇取得日数	11 日以上
時間外労働時間数（事務職員）	1 カ月平均 5.5 時間以下／人

2 財務政策

(1) 事業活動収支差額の改善に向けた中期財務計画の推進および見直し

(2) 事業活動収入の安定的な確保

自己財源である学生生徒等納付金の確保と収入の多様化の推進

- ① 各設置学校入学定員の確保

- ② 学生生徒等納付金の改定結果の検証および今後に向けた検討の継続

- ③ 国庫・地方公共団体補助金の確保

- ④ 寄付募集に関する普及啓発活動の強化

ア 諸澤幸雄奨学金制度（給付型奨学金）への募金

イ 常磐大学高等学校創立 100 周年募金（教育活動・学習支援のための環境整備資金）

ウ 教育および学術研究の充実・発展のための募金

- ⑤ 適正かつ効率的な資産運用による利息収入の確保

(3) 適正かつ計画的な予算管理と事業活動支出の抑制

事業活動収支差額の均衡化を図るため、予算執行状況の検証および改善を通じて予算規模を最適化するとともに、より一層の経費支出抑制に取り組む

- ① 経常的経費支出の適正な執行管理

- ② 教育研究経費支出の適正な執行管理

(4) 学校法人会計基準の改正に対応した適正な会計処理と計算書類の作成

項目	目標
教育研究経費比率	33%以上
管理経費比率	9%以下
寄付金比率	0.4%以上
受取利息・配当金収入の拡大	前年比 110%以上

3 施設設備

(1) 教育環境の整備

- ① 見和キャンパス A 棟改築等の基本設計・実施設計の開始

(2) 安全安心な環境の維持

- ① 見和キャンパス内借地購入

項目	目標
整備計画実行率	100%

4 管理運営

(1) 学校法人常磐大学中期計画「TOKIWA VISION 2028」の進捗管理

(2) キャンパス活用計画の検討

- ① 新荘キャンパス活用に向けた具体案の検討
- ② 小吹キャンパス活用計画の検討

(3) 新寄附行為に基づく理事・監事・評議員構成の改編

(4) 法人内連携の充実

- ① 学校間連携協議会の開催および連携事業の推進
- ② 智学館中等教育学校の閉校に向けた支援体制の検討

【常磐大学】

1 教育研究

(1) 教育の質の保証

① 全学的な教学マネジメントの確立

ア 学修成果の把握・評価に関する手法および指標等の点検・見直し

(2) 教育の内容と方法の充実

① カリキュラム・ポリシーに基づく体系的かつ組織的な教育課程の編成

ア 履修系統図（図形式・表形式）の点検・見直し

② 専門教育との関連を踏まえた教養教育

ア 学部共通科目（教養科目・キャリア教育科目）の充実（グローバル科目の検討を含む）

イ 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの充実

③ ICT を活用した教育の充実

ア LMS システムの活用

イ 適切な遠隔授業の活用方法の検討

④ 国際感覚を育む教育

ア 資格課程の教育プログラムを活用した国際理解の促進

イ トキワ de SDGs の推進

(3) 研究活動の活性化

① 教員が不断に研究活動を行うための仕組みや環境の整備

ア 教育研究活動の活性化と外部資金獲得の促進

イ サバティカルの取得促進

(4) 教育研究における法人内各学校との連携強化

① 常磐大学高等学校との連携に基づく教育プログラムの開発

ア 探究学習プログラムの開発支援

イ 体験授業の実施

ウ 海外協定校からの短期研修受入に伴う共同プログラムの開発

エ 短期留学や短期研修等参加者に対する事前研修プログラムの検討

オ 合同で実施する海外研修プログラムの検討

② FD にかかわる教職員の学びの場の提供

ア FD フォーラム等への参加促進

項目	目標
国家試験合格率（公認心理師，管理栄養士，看護師，保健師）	公認心理師：80%以上，管理栄養士：90%以上，看護師：100%，保健師：100%
教員試験合格率（私立等含む）	75%以上
公務員合格者数（教員除く）	40人以上
語学試験学内表彰対象者数	155人以上
開設科目に占める SDGs 関連科目の割合（履修系統図）（大学・短期大学合計）	40%以上
外部資金獲得額（大学・短期大学合計）	22,000 千円以上
科研費獲得件数	34 件以上

2 学生支援

(1) 学修支援の充実

- ① 個々の学修状況に対応した学修支援の充実
 - ア 学生のニーズの的確な把握および学修支援方策の評価・改善
 - イ 「高等教育の修学支援新制度」の円滑な運用
 - ウ 留学や外国語習得を志向する学生に対する語学学習支援

② 教育資源の活用

- ア LMS システムの活用（再掲）
- イ 図書館の利用促進

(2) 学生生活支援の充実

- ① 学生の多様なニーズに対応した学生生活支援の充実
 - ア 学生のニーズの的確な把握および学生生活支援方策の評価・改善（学生満足度調査の結果の分析を含む）
- ② 課外活動および社会活動に対する支援
 - ア 課外活動への加入促進
 - イ ときわ祭の支援（学生団体への参加促進と地域への広報）

(3) 進路支援の充実

- ① 学生の自己実現に資する進路支援の充実
 - ア 学生のニーズの的確な把握および進路支援方策の評価・改善（学外団体等との連携による支援を含む）
 - イ 社会の状況に即した就職支援プログラムの充実
 - ウ 学科担当者や外部カウンセラーによる相談体制の充実

項目	目標
退学率	2.5%以下
学修に対する満足度（卒業時アンケート）	90%以上
語学学習支援企画への参加者数	380人以上
情報メディアセンター図書貸出冊数 （大学・短期大学（教員・学生）合計）	17,000冊以上
課外活動加入率	50%以上
ときわ祭来場者数（大学・短期大学合計）	4,000人以上
就職率	99%以上
就職決定先満足度（進路状況調査）	90%以上

3 地域連携・国際教育

(1) 地域連携活動の充実

- ① 生涯学習事業（リカレント教育を含む）の推進
ア オープンカレッジ（公開講座）の充実
- ② 地方公共団体、企業、教育・研究機関、文化団体等との連携および交流活動の推進
ア 地域の自治体、産業界との連携・交流の推進
- ③ 地域の課題解決に向けた地域連携プログラム等の充実
ア 地域課題の解決に向けた研究活動の促進および支援

(2) 国際交流活動の充実

- ① 海外の大学等との連携および交流活動の推進
ア 海外協定校を主とした国際交流プログラムの充実（オンラインを含む）
イ 海外協定校への教職員の派遣
- ② 留学生の受入れおよび派遣の推進
ア 外国人・帰国生選抜の見直し
イ 交換留学生の学修成果の共有と公表

項目	目標
オープンカレッジ参加者数（大学・短期大学合計）	400人以上（オンライン講座含む）
地域連携活動数（大学・短期大学合計）	50件以上
地域への委員等派遣数	50件以上
留学派遣者数（交換留学，短期研修）	69人（16人，53人）以上
留学受入者数（交換留学，短期研修）	66人（24人，42人）以上
国際関連イベント参加者数	497人以上

4 入試広報

(1) 入学者の受入れ

- ① アドミッション・ポリシーに基づく入学者選抜方法の改善・充実
ア アドミッション・ポリシーの点検・見直し
イ 入学者選抜の見直し
- ② 高大接続を踏まえた入学者受入れプログラム等の充実
ア 入学前教育の充実

(2) 広報活動の充実

- ① 教育目的・目標および学修成果の理解促進
ア 学修成果等の明示および周知に関する手法および評価指標等の点検・見直し
- ② 多様な広報媒体の活用による訴求力の向上
ア 広報活動の充実・多様化

項目	目標
志願者数	1,500人以上（2026年度入試）
入学定員充足率	100%以上
オープンキャンパス参加者数（大学・短期大学合計）	3,000人以上
HPアクセス件数（大学・短期大学合計）	1,000,000件以上
学校説明会接触者数（大学・短期大学合計）	3,700件以上
資料請求者数（大学・短期大学合計）	20,000件以上
特別講座実施回数（大学・短期大学合計）	50件以上

5 施設設備

(1) 教育環境の整備

① 情報学修環境の整備

- ア ノート PC 必携化に向けての整備
- イ ネットワークシステムの更新
- ウ Q 棟センターホール AV 機器の更新
- エ 教育用基盤システムの更新

② 施設整備関係

- ア 動物心理学実験棟修繕

(2) 安全安心な環境の維持

① キャンパスの環境整備 (Q 棟南側エレベーター更新, トイレ改修 (I 棟, Q 棟, V 棟, アドミッションセンター))

② 照明の修繕時における LED 化の実施

項目	目標
整備計画実行率	100%

【常磐短期大学】

1 教育研究

(1) 教育の質の保証

① 全学的な教学マネジメントの確立

ア 学修成果の把握・評価に関する手法および指標等の点検・見直し

(2) 教育の内容と方法の充実

① カリキュラム・ポリシーに基づく体系的かつ組織的な教育課程の編成

ア 履修系統図（図形式・表形式）の点検・見直し

② 専門教育との関連を踏まえた教養教育

ア 教養教育の充実

イ 数理・データサイエンス・AI 教育の充実

③ ICT を活用した教育の充実

ア LMS システム活用

イ 適切な遠隔授業の活用方法の検討

④ 国際感覚を育む教育

ア 国際文化研修の実施方法等の点検・見直し

イ 各授業科目における SDGs の推進にかかわる教育コンテンツ等の活用

(3) 研究活動の活性化

① 教員が不断に研究活動を行うための仕組みや環境の整備

ア 教育研究活動の活性化と外部資金獲得の促進

イ サバティカルの取得促進

(4) 教育研究における法人内各学校との連携強化

① 常磐大学こども園との連携に基づく教育プログラムの開発

② 常磐大学高等学校との連携に基づく教育プログラムの開発

ア 体験授業の実施

③ FD にかかわる教職員の学びの場の提供

ア FD 研究会等への参加促進

項目	目標
語学試験学内表彰対象者数	3 人以上
開設科目に占める SDGs 関連科目の割合 （履修系統図）（大学・短期大学合計）	40%以上
外部資金獲得額（大学・短期大学合計）	22,000 千円以上
科研費獲得件数	4 件以上
常磐大学こども園との連携事業への教員派遣回数	40 回以上

2 学生支援

(1) 学修支援の充実

- ① 個々の学修状況に対応した学修支援の充実
 - ア 学生のニーズの的確な把握および学修支援方策の評価・改善
 - イ 「高等教育の修学支援新制度」の円滑な運用
 - ウ 留学や外国語習得を志向する学生に対する語学学習支援

② 教育資源の活用

- ア LMS システムの活用（再掲）
- イ 図書館の利用促進

(2) 学生生活支援の充実

- ① 学生の多様なニーズに対応した学生生活支援の充実
 - ア 学生のニーズの的確な把握および学生生活支援方策の評価・改善（学生満足度調査の結果の分析を含む）
- ② 課外活動および社会活動に対する支援
 - ア ときわ祭の支援（学生団体への参加促進と地域への広報）

(3) 進路支援の充実

- ① 学生の自己実現に資する進路支援の充実
 - ア 学生のニーズの的確な把握および進路支援方策の評価・改善（学外団体等との連携による支援を含む）
 - イ 学科と共同した就職支援プログラムの充実
 - ウ 学科担当者や外部カウンセラーによる相談体制の充実

項目	目標
退学率	2.5%以下
学修に対する満足度（卒業時アンケート）	90%以上
語学学習支援企画への参加者数	14人以上
情報メディアセンター図書貸出冊数 （大学・短期大学（教員・学生）合計）	17,000冊以上
ときわ祭来場者数（大学・短期大学合計）	3,500人以上
就職率	100%
就職決定先満足度（進路状況調査）	90%以上

3 地域連携・国際教育

(1) 地域連携活動の充実

- ① 生涯学習事業（リカレント教育を含む）の推進
 - ア オープンカレッジ（公開講座）の充実
- ② 地方公共団体、企業、教育・研究機関、文化団体等との連携および交流活動の推進
 - ア 地域の自治体、産業界との連携・交流の推進
- ③ 地域の課題解決に向けた地域連携プログラム等の充実
 - ア 地域課題の解決に向けた研究活動の促進および支援

(2) 国際交流活動の充実

- ① 海外の大学等との連携および交流活動の推進
 - ア 海外協定校を主とした国際交流プログラムの充実（オンラインを含む）
 - イ 海外協定校への教職員の派遣

項目	目標
オープンカレッジ参加者数（大学・短期大学合計）	400人以上（オンライン講座含む）
地域連携活動数（大学・短期大学合計）	50件以上
地域への委員等派遣数	5件以上
国際関連イベント参加者数	25人以上

4 入試広報

(1) 入学者の受入れ

① アドミッション・ポリシーに基づく入学者選抜方法の改善・充実

ア アドミッション・ポリシーの点検・見直し

イ 入学者選抜の見直し

② 高大接続を踏まえた入学者受入れプログラム等の充実

ア 入学前教育の充実

(2) 広報活動の充実

① 教育目的・目標および学修成果の理解促進

ア 学修成果等の明示および周知に関する手法および評価指標等の点検・見直し

② 多様な広報媒体の活用による訴求力の向上

ア 広報活動の充実・多様化

項目	目標
志願者数	90 人以上（2026 年度入試）
入学定員充足率	100%
オープンキャンパス参加者数（大学・短期大学合計）	3,000 人以上
HP アクセス件数（大学・短期大学合計）	1,000,000 件以上
学校説明会接触者数（大学・短期大学合計）	3,700 件以上
資料請求者数（大学・短期大学合計）	20,000 件以上
特別講座実施回数（大学・短期大学合計）	50 件以上

5 施設設備

(1) 教育環境の整備

〔大学に含めて記載〕

(2) 安全安心な環境の維持

〔大学に含めて記載〕

項目	目標
整備計画実行率	100%

【常磐大学高等学校】

1 教育研究

(1) 生徒の主体的・対話的な学びを引き出す授業・研究の推進

- ① 対話を軸とした授業の実践と検証
- ② 生徒主体の学習改善につながる評価の実施
- ③ 個別最適な学びを支える環境の更なる充実
- ④ 生成 AI を活用した教育の開拓と研究

(2) 未来を担う人材の育成を目指した教育改革の推進

- ① 教育課程の抜本的見直しの継続
- ② 管理職による教職員面談の充実
- ③ 校外研修への参加の徹底と研修内容の相互共有

(3) 生徒の個性を伸ばす体系的な進路計画の充実

- ① 学年と教務部・進路部が連携した学習支援の充実
- ② 海外大学への進学支援体制の強化
- ③ 常磐大学・短期大学との連携の強化
- ④ 複数の大学との連携の構築

項目	目標
授業満足度	92%以上
校外実施の教員研修への参加回数	全教員 1 回以上
法人内学校との連携事業数	8 件
常磐大学・短期大学進学者数	在籍者の 30%以上
海外大学実合格者	2 人以上

2 生徒支援

(1) 規範意識の高揚とウェルビーイングの向上

- ① 生徒と教員が尊重し協働する学校の推進
- ② 安心・安全な環境の維持と相談体制の更なる充実

(2) 特別活動の充実による資質・能力の育成

- ① 生徒が主体となる特別活動の確立
- ② 働き方改革を見すえた部活動運営の検討

項目	目標
自己有用感に関する質問事項に対する肯定的評価	60%
部活動加入率	75%以上

3 地域連携・国際教育

(1) 資質・能力（ときわ力）の育成を目指した連携事業の充実

- ① 協力機関との連携の深化と新規開拓の継続
- ② 自己有用感を育む、地域に根ざした探究の実践

(2) すべての生徒に開かれた国際教育の実現

- ① 海外留学生の受入体制の充実
- ② 海外研修留学プログラムの進化と参加者の拡大
- ③ 外国語能力の向上につながる支援体制の充実

項目	目標
自治体や地域・企業との連携事業数	8 件
海外研修プログラムの参加者数（留学を含む）	35 人以上
海外からの留学生受入数	7 人以上

4 入試広報

(1) 時代の変化に対応した広報活動の展開

- ① 本校の魅力発信力の強化
- ② 来校型広報活動の更なる充実

(2) 志願者の新規開拓につながる新たな制度の検討

- ① 志願者のニーズをとらえた入試制度の実施
- ② 生徒の学びを支援する新たな制度の検討

項目	目標
募集定員充足率	100%
オープンスクール参加者数	2,400 人
秋季説明会参加者数	600 人
HP アクセス件数	40,000 件以上

5 施設設備

(1) 学習環境の充実、部活動活性化、および教職員の業務効率化につながる施設整備、修繕

- ① 校舎・グラウンド等照明の LED 化
- ② WEB サイト（ホームページ）の CMS 化
- ③ 電話交換機の更新
- ④ 教員ノート PC の更新（2 期のうち 1 年目）

項目	目標
整備（工事）計画実行率	100%

【智学館中等教育学校】

1 教育研究

- (1) 個々の学力推移の分析を踏まえ、個別最適な学習指導による学力向上および希望進路の実現
- (2) SDGs の理念を取り入れた探究活動の充実
- (3) オンライン授業による学びの保証
- (4) 2 学年合同海外研修旅行の実施
- (5) 教員の校外研修への参加の継続

項目	目標
生徒授業満足度	90%以上
教員の校外研修への参加回数	全教員 1 回以上

2 生徒支援

- (1) 生徒会等自主的活動への支援
- (2) 各種ボランティア活動参加への支援
- (3) 発達段階に応じた各種講演会の実施
- (4) 学年減に向けた学校行事の検討
- (5) 保護者・卒業生との連携強化

項目	目標
生徒ボランティア参加者率	50%以上
薬物、交通、消費者、メディア等講演会	5 回以上

3 地域連携・国際教育

- (1) 天体観測会の実施
- (2) ユネスコスクールを通じた海外校との交流の継続
- (3) 英語でのコミュニケーション能力の充実
- (4) 海外留学生の受入

項目	目標
6 年次生 TOEIC L&R 320 点以上	40%以上
年間受入留学生者数	2 人以上

4 広報

- (1) HP や SNS を通じた、教育活動内容の発信

項目	目標
SNS 発信数	90 回以上

5 施設設備

- (1) 学習環境の充実および教職員の業務効率化につながる施設の維持、修繕

【常磐大学こども園】

1 保育・教育・研究

- (1) 乳幼児期の特性および保護者や地域の実態を踏まえ、健全な心身の発達を図り、人格形成の基礎を培う教育・保育の実践
- (2) 園児が安心して身近な環境に主体的に関われるように配慮し、その活動が豊かに展開されるような支援

項目	目標
「わくわくチャレンジ」開講回数 (理科・英語・音楽・美術・体育)	63 回
地域と連携した専門プログラム開講回数 (水戸ホーリーホック・水戸シルエラ・茨城ロボッツ)	15 回
入園説明会参加者数	135 名

2 地域連携・国際教育

- (1) 地域社会への貢献として、近隣の中高生の職場体験及びインターンシップ等の積極的な受け入れ
- (2) 幼稚園・小学校の参観及び教員間での意見交換の機会を通して幼小接続・連携を強化
- (3) 法人内の各学校に留学に来ている海外の学生・生徒との交流を通して、園児の国際感覚の基礎を育成
- (4) 病後児保育の年度内の開設の準備

項目	目標
常磐大学高校生徒のインターンシップ受入数	140 名
公立小学校教員との意見交換会	2 回
法人内各学校体の留学生との交流	2 回

3 広報

- (1) 新たな保育部の活動内容を含む情報発信の充実
- (2) 園庭開放や施設見学の実施、育児に役立つ勉強会等の開催を通して本園の情報を発信し、地域の子育てを支援
- (3) 入園者確保のための広報活動の充実
 - ① 「子育て支援・多世代交流センター」「家庭的保育事業所」「小規模保育事業所」へのチラシ設置
 - ② 新たな施設へのポスター掲示の開拓
 - ③ Web 広告を利用し、地域の子育て支援施設の検索結果や SNS 上で効果的にアピール

項目	目標
入園定員充足率	100%

4 施設設備

- (1) 教育環境の整備
 - ① 遊戯室外壁修繕工事

項目	目標
整備計画実行率	100%